

環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



再生可能エネルギーと自然エネルギー

再生可能エネルギーと自然エネルギー、これら二つは同じ意味で使うことが多いのですが、前者は消費しても補充が定常的に期待できるエネルギーのことで、枯渇しないのが特徴。



後者は、定期的に補充が可能なエネルギーのうち、自然現象を利用するものをいいます。ちなみに、9 月に出された第 6 次エネルギー基本計画(案)では、再生可能エネルギーの電力構成比率を 36~38%としています。これで果たしてカーボンニュートラル社会が実現できるのでしょうか…

気候変動に対する緩和と適応

地球温暖化が進んでいます。もう後戻りができないところに近づきつつあります。そんな中「緩和と適応」という言葉をよく耳にしませんか？

気候変動における**緩和**とは「地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出抑制」をいい、**適応**は「既に起こりつつある、あるいは起こりうる気候変動の影響に対処し、被害を回避・軽減する」ことを言います。CO₂の排出抑制と共に適応策を考えておきたいですね。

ひとこと



約1か月の閉鎖が決まった時、元どおり再開できるかなー、このまま萎んでなくなってしまうかもしれないと、いろいろな事が頭をめぐりました。ところが、再開早々、会員さんをはじめ、エコノート参加者の方、リユース利用の方が次々と訪れてくださり、「貼り紙見てびっくりしたわー！ 大変やったねー。待ってたよー。」と、たくさんおしゃべりをして帰られ、不安もすぐに吹っ飛んでしまいました。

しかしながら休みの間は、「自分はここで何をしたかったのか」とか「この団体は会員の皆さんや市民にとってどういう存在なのだろう」などを改めて考えるよい時間となりました。

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第71号

令和3年11月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議



〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：伊丹 均 編集責任者：丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています

市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 71
秋号

令和3年
(2021年)

環境ひらかた



今夏もインターンシップを受け入れました 遅ればせながらその一端をご報告します



今夏は6名のインターン生を受け入れました。インターンシップを通して感じることは、若者の多くが環境問題に対する意識や知識はさほどなく、温暖化についても「あまり知らない・危機感がない」という事です。そこで今回は、温暖化問題について知り、考えてもらおうと「日本における温暖化対策の取り組みは進んでいるか!?進んでいないか!?」をテーマにディベートをしました。どちらに軍配があがったかはさておき、2050 年まで30 年足らず。本気で脱二酸化炭素に取り組まなければなりません。（関連記事は、2・3 面に）

◆ お詫び ◆

今般、コロナ感染者が生じたため、9月2日から9月20日まで、環境情報コーナーを閉鎖いたしました。利用者の皆様、会員並びに関係者の皆様には大変なご不便・ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。紙面を借りてお詫び申し上げます。併せて、閉鎖に伴い本秋号の発行が1カ月遅れましたこととお詫び申し上げます。

****目次****

今夏もインターン生を受け入れました	P 1
インターンシップを終えて	P 2・3
環境ミニ講座・環境ティールーム	
部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピックス VOL. 37	P 7
環境ミニ知識	P 8

インターンシップを終えて インターン生 6 人の感想を紹介します

今回のインターンシップは、コロナにより、実質 1 週間という短い期間で終わってしまいました。しかしその間、多くの学びがあったようです。ここに感想を紹介します。



関西学院大学
理工学部 物理学科
3 年 竹内 萌乃

ひらかた環境ネットワーク会議に 2 ヶ月間お世話になって、主に 2 つ学びました。まず地球温暖化問題について私が自分事化できていない点。如何にして、環境問題を自分事として考えるかが重視されます。地球温暖化という規模の大きい問題に対して俯瞰して考えがちでしたが、俯瞰的にものごとを見ることと併せて、自分の生活に落とし込むことも重要であることを学びました。次に、データの数字の見方についても考えさせられました。取得の背景や国の情勢なども考慮するべきであること。絶対的な値だけでなく値が減った原因なども追求することが重要であると学びました。

私は今回のインターンシップを通して、円滑に議論する難しさ、温暖化対策を多くの人に知ってもらう難しさを学びました。効率の良い話し合いをする上で大切なのは、常に何について話し合っているのかを明確にし、全員と共有することです。例えば、「エコノート」の取り組みを、どのように多くの人に知ってもらうかを議論したところ、「もっと知ってもらうためには」という根本の話し合いが不十分であったため、エコノートのデザインの改善、景品の改善といった話になり、方向性も定まらず、話し合いがうまく進みませんでした。また、温暖化対策の周知の難しさ、情報発信の仕方も世代により違い、温暖化対策を促すことも困難だと感じました。今回のインターンシップで社会に出た時に大切な力を養えました。さらに、環境問題の見方も変わりました。



関西外国語大学 外国語学部 英米語学科 2 年 山邊 健

私は今回のインターンシップを通して、円滑に議論する難しさ、温暖化対策を多くの人に知ってもらう難しさを学びました。効率の良い話し合いをする上で大切なのは、常に何について話し合っているのかを明確にし、全員と共有することです。例えば、「エコノート」の取り組みを、どのように多くの人に知ってもらうかを議論したところ、「もっと知ってもらうためには」という根本の話し合いが不十分であったため、エコノートのデザインの改善、景品の改善といった話になり、方向性も定まらず、話し合いがうまく進みませんでした。また、温暖化対策の周知の難しさ、情報発信の仕方も世代により違い、温暖化対策を促すことも困難だと感じました。今回のインターンシップで社会に出た時に大切な力を養えました。さらに、環境問題の見方も変わりました。

*** 環境ミニ講座 2021 後期 *** 13 : 30 ~ 15 : 00

10月28日(木) ~ エコクッキング ~
かぼちゃ De スイーツ

節句を通して、
現在の気候変動を考える



1月22日(土) ~ 木工クラフト ~
昔遊び を 体験しよう

竹返し、駒回し、竹馬、など親子で昔遊びを
道具作りと共に体験

11月25日(木) ~ ハギレdeアート ~
クリスマスガーランド作り

ハギレや古着でクリスマスガーランド作り
古着リユースのお話あり

3月24日(土) ~ わがまち魅力発見 ~
天の川ウォーク第 2 弾

サブリ村野の横を流れる天の川。そこに架かる
「浜橋」その上流はどんなだろう…。

環境トピックス Vol.37

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。今回は、「第 6 次エネルギー基本計画」「多発する山火事」の問題です。

◆第 6 次エネルギー基本計画(案)

先の総裁選で決選投票の末、岸田氏が勝利し新内閣が発足しました。しかし時をおかず、10 月 14 日衆議院を解散し 19 日に公示、31 日投開票というニュースに、何とも慌しいと思われた方も多いのではないのでしょうか。この会報誌が皆さんのお手元に届いているころには選挙結果も出ていることでしょう。

ところで「なぜ冒頭からこんなことを」と思われたかもしれませんが、選挙結果で日本のエネルギー政策も大きく違ってくるのではと思うからです。

今年 9 月第 6 次となる「エネルギー基本計画(案)」が出されました。そこには 2050 年を見据えた 2030 年に向けた政策対応として「2030 年度の新たな削減目標の実現を目指すに際して、原子力については安全を最優先にし、再生可能エネルギーの拡大を図る中で、可能な限り原発依存度を低減する」と書かれています。しかし電力構成比を見ると、原発が 20 ~ 22 % (現在は稼働していないものがあるため 6 %) 再エネが 36 ~ 38 % とあり、原発に関してのこの数字は、原発の新設や老朽化している既存施設の再稼働なくしては実現できない数字で、明らかに脱原発 & 世界の潮流に逆行しているものと言えます。また再エネについては数値達成のための具体的な道筋もまだ確立されていません。選挙結果が、脱原発、再生可能エネルギーの拡大を後押しするものになってほしいものです。

◆多発する山火事

今年 8 月、イタリア南、地中海のシチリア島でヨーロッパ観測史上最高気温 48.8℃ を記録したとのニュースに驚いた方も多かったのではないのでしょうか。地中海沿岸部のトルコやギリシャやイタリアでも猛烈な暑さに加え空気の乾燥も重なり山火事が多発しています。山火事は火の不始末など人為的要因で起こる人的災害である一方、枯葉の摩擦や落雷などの自然的要因で起こる自然災害でもあります。地中海沿岸部やオーストラリアで起きている大規模な山火事は、まさに気候変動による自然災害と言えます。山火事は CO2 を大量に排出するため、温暖化がさらに進行するという事態を引き起こしているのです。

特に最近の大規模な山火事は落雷が原因であることも多く、温暖化が進むと落雷の発生率が高くなります。他の地域よりも温暖化の進行が速い北極圏(北緯 65 度以上)では、2020 年の落雷発生回数は 2010 年の 8 倍以上との報告もあります。

臨界点に至る前に、1 日も早いカーボンニュートラルを実現させなければなりません。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

▼△▼△▼リユースコーナー 秋冬物が充実▼△▼△▼

皆さんに好評をいただいているリユースコーナー。10月に夏物から秋冬物へと棚替えをしました。今年はいつまでも暑い日が続いたこともあり、棚替えが遅れていたのですが、秋冬物がたくさん棚に並ぶといち早く多くが利用され、スタッフ一同喜んでます。



日本で1年間に捨てられる衣類は約75万トン。そのうち再利用やリサイクルされず廃棄されるものは、約66% 50万トン、約15億着になります。ちなみに昨年度(2020年度)1年間で、リユースコーナーで利用された点数は1,288点。約3万kgのCO₂を削減したことになります。

バス!のってスタンプラリー もう始まっています!

第31回となる今回の「バス!のってスタンプラリー!」は、“くらわんか茶碗をさがせ!”と銘打ち、期間中に4か所のポイントを回ります。もちろん1日で回るのもいいですね。開催期間等は下記の通り。詳細は市内公共施設に設置配布しているチラシ(=スタンプシート)をご覧ください。

- ・実施期間: 10月1日~2022年1月10日
- ・参加前に準備していただくもの
 - ①スタンプシート(市内公共施設に設置配布)
- ・あると便利なもの
 - ②交通タウンマップ(市内公共施設に設置配布)
 - ③枚方ポイントアプリまたはカード(ポイント希望者のみ)
 - ④ポイントを1日で回る時には
京阪バス IC1day チケットが便利です



環境情報コーナー 模様替えを計画中!!

情報コーナーがオープンしてはや8年。ちょっとした模様替えは行ってきましたが、今回、大きく模様替えを計画しています。環境情報コーナーの名に恥じないよう、情報のなかみ、情報発信媒体等、より興味を持ってもらえるようなものと案を巡らせています。そして何より、親しみを覚えてもらえるよう、気軽に足を向けてもらえるようしつらえていきたいと思っています。

皆さんの要望やお声、お聞かせください。お待ちしております♪



私はインターンシップに参加して、環境に対する意識が変化しました。特に、地球温暖化の問題に対しては、未来の地球の

近畿大学総合社会学部
総合社会学科
2年 奥田 恵梨

ために、関心を持ち一人一人が自分ごととして捉え、暮らしの中からできることをするなど行動を起こすことが大切だと実感しました。また、自分の意見を持ちインターン生同士で様々な視点から意見を出しあい議論したことは貴重な体験となりました。ここで学んだことや得た経験を今後活かしていこうと思います。



関西学院大学
商学部
2年 木村 有那

インターン生として活動した2か月間はとても貴重な経験です。環境問題の取り組む方達の下で学ぶことで地球温暖化をはじめとする環境問題の現状、私たちの環境に対しての問題意識の低さ、正解のない課題に取り組む難しさを実感しました。どうして?なぜ?と疑問を持ち広い視野から、環境問題を自分事として捉え考えることが大切だと知りました。一人の100歩より100人の1歩!私も環境問題に対して行動できる人になりたいです!

学んだことが大きく2つあります。一つは環境に関するグループディスカッション等を通して議論の進め方を学びました。

関西外国語大学・外国語学部・英米語学科
3年 足立 奎太

初日にディスカッションを行った際には議論がうまく進まず、その後、司会者のような役割が必要というアドバイスを受け、参加者が積極的に話を進めるようになり、活発な議論を行うことができるようになりました。もう一つは温暖化対策に関するディベートを行ったことで、より幅広い視野・知識を持たなければならないことを学びました。相手側への反論を考える際に、それらの情報が必要だと感じました。



関西外国語大学
外国語学部
スペイン語学
3年 井野 あかり

インターンシップを始めたばかりの頃は環境問題に対する知識が少なく、アイデアを考えることや議論をすることがとても難しく、うまく話が進まないことも多くありました。インターン生みなさんと議論、ディベートをしたり環境ネットワーク会議のみなさんからの話を聞いて、環境問題への理解が深まり、ひらかた環境ネットワーク会議で行われている取り組みについて学ぶことができました。短い期間でしたが多くのことを学び、自分自身地球温暖化に対してもっと行動しようとする機会をいただきました。ありがとうございました。

* 環境ティールーム 後期 * 第二木曜日 10:30~12:00

第5回
11月11日(木)
「小水力発電
デモンストレーション
見学会」

第6回~8回 ~3回シリーズで開催~
「温暖化が進むとどうなる?私たちの暮らしはどう変わる?」

第1回目は 12月9日(木) 食べ物編	第2回目は 2月17日(木) 住まい編	第3回目は 3月10日(木) 健康編
---------------------------	---------------------------	--------------------------



部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれ
テーマごとに部会を結成し、主体的に活
動を行っています。

自然エネルギー一部会

11 月 12 月は大忙し！ ピコ水力のデモンストレーションの実施 & 講演会の開催

《デモンストレーション》

実施日：11月11日(木)
10:30～
場 所：香里団地コノバ前
こもれび水路

《講演会》

開催日：12月10日(金)
13：30～
場 所：サプリ村野
環境保全研修室
講 師：早川 光俊
地球環境市民会議
専務理事
弁護士

コロナで延期になっていたピコ水力発電のデモンストラেশ
ンを11月11日に、そしてこれも延び延びになっていた「第6次エ
ネルギー基本計画」についての講演会を12月10日に実施します。
前者は環境ティールームとの共催で、環境教育部会の協力を受け実
施予定をしていますが、何分我が「自然エネルギー部会」は、部会
員が現在4名と何とも弱小部会であるため、何をするにも皆さんの
協力がなければなかなか進まないのです。それでも部会では、2050
年カーボンニュートラル社会実現に向け本気で頑張っています。

興味関心のある方はぜひ一緒に活動しましょう！

※詳細はいずれもチラシ・HPをご覧ください

環境ティールーム

今回のテーマは
「マイタイムラインって何だろう」でした

毎回その時々にはニュースになっている事柄や身近なところでの話題を取り上げ、お菓子をつまみお茶を飲みながら参加者同士お喋りをするという「環境ティールーム」。コロナの緊急事態宣言が解除された10月14日に開催しました。定員は10名と少なめですが、これは“お喋り”しやすい人数を考えてのことです。

さて今回は「マイタイムラインって何だろう」をテーマにしました。

参加者の中でこの“マイタイムライン”をご存知の方がお一人おられ、かなり詳しく説明して下さい、マイタイムラインについて知ることができました。また参加者から「防災マップをあまり真剣に見たことがなかった」「いろんなことが目からうろこだった」「避難所で行政からの食料や水などの支給はないなんて知らなかった」など話は盛り上がりました。地球温暖化が深刻化する中、温暖化に対して緩和(温暖化が進まないような取り組み)と適応(温暖化の影響を回避あるいは軽減させる取り組み)が言われていますが、今回のマイタイムラインの作成はその適応のためにも大事と思えるものでした。

[illegible]

環境教育部会

「社会の変化を見据えた環境出前授業を！」
～ SDGs も視野に入れ・・・～



環境教育部会は、「子供たちの未来のために出来ること」を旗印に、環境出前授業を柱に活動を行っています。小学校の教科書や枚方市の環境副読本を基本に、環境問題を身近なこととして捉えてもらえるよう“体験”を重視し、独自に製作した機材を用いて地球温暖化の問題や、エネルギーについて、またごみ問題等について子供たちに伝えてきました。しかしこの活動への取り組みもこの1年余りで大きく変わりました。その一つが新型コロナによるものです。前号でもお伝えしましたが、講師・スタッフ及び運営に対する感染拡大防止対策を徹底するというもの。もう一つが学校の授業に新しくSDGs(持続可能な開発目標：17項目)の教育指導要領が導入されたことによる出前授業メニューの見直しです。部会ではスタート時よりSDGsの考え方をベースに活動を行ってきたと自負していますが、メニューにそのことが第3者にも伝わるような・感じてもらえるような工夫が必要なのだという事です。

折しも今年、東香里小学校から新たに出席授業の依頼がありました。SDGs 教育で「地球温暖化」と「エネルギー」の課題学習として、「電気エネルギーと環境問題」が相応しいと先生が注目されたことがその発端でした。当部会では依頼を受け、9月24日の総合学習に合わせ「電気エネルギーと環境問題」をテーマに4年生2クラスで実施しました。部会独自の製作教材であるソーラースクーターを使っての試乗、ソーラー噴水の体験、自転車発電でLEDランプと白熱電灯の比較や液晶TVをつける等々、まさに体験を通して「節電や省エネ」の大切さを学んでももらいました。先生も含め子供たちには好評で、最後のお礼の挨拶に私たちも元気を頂きました。今後もより充実した出席授業が行えるよう部会員の自己研鑽と創意工夫を積み重ねて行きます。



ところで今回、新たな学校からの依頼が頂けた背景には

- ・環境出前授業メニューの作成
- ・年度初めの各小学校への配布
- ・その後の学校訪問活動

これらの努力があったことを報告しておきたいと思います。

募集部会員！一緒に楽しく活動しませんか？